

分科会

地域の取り組みについて

分科会1：和歌山、A型地域連携について：15:00～

ウインナック株式会社 西代表取締役社長 西 芳男様

和歌山で和歌山県・和歌山市とともに第3セクターで立ち上げられたウインナック株式会社、障害者が健常者と共に手を携え、旺盛な勤労意欲と自立心をもって働くことのできる「夢工場」を地域とともに作り上げられている会社で、2009年にはウインワークス株式会社（A型事業所）を立ち上げられ、障がい者とともに働く職場をどのように作り上げられているかをお話しして頂きます。

分科会2：奈良、事業協同組合の取組み：16:00～

社会福祉法人ぶろぼの 理事長 山内 民興様

奈良で、あたくし組合（あたらしい・はたらくを・つくる福祉型事業協同組合）の立ち上げに関わられた全重協奈良支部会員の山内さん

- ・福祉や企業、NPO等が共同して仕事を受注する、新しい福祉型の社会システムの構築
- ・障害のある人が働ける多様な職場をつくり、若者やママ、シニアも活躍できる仕事の創出
- ・中小企業の社会貢献活動（CSR）の支援

を掲げられ、中小企業、福祉施設と一緒に、事業協同組合等算定特例の事業組合をつくり、障がい者の働く場所づくりを進めていく取組みをお話しして頂きます。

障がい者への雇用対応について

分科会3：聴覚障がい者とのコミュニケーションと配慮について：15:00～

株式会社ダイキンサンライズ摂津 澁谷 栄作様、ココヨKハート株式会社 谷 健次様、ハウスあいファクトリー株式会社 松田 達久様

聴覚障がい者との職場でのコミュニケーションと配慮について、聴覚障がい者の方を多数雇用されている企業のお話をパネルディスカッションとして事例紹介して頂きます。

分科会4：発達障がい者の職場での対応、キャリアアップについて：15:00～、16:00～（2度開催）

東京海上ビジネスサポート株式会社 大阪支社長 亀井 茂樹様

大阪支社の立ち上げから発達障がい者を積極的に雇用されている東京海上ビジネスサポート株式会社の現場で発達障がいのある社員に対してどのような配慮や対応を心掛けているか、またキャリアアップについてどのように取り組んでいるかをお話しいただけます。

分科会5：精神障害就労定着手法 SPIS の成果から考える定着におけるポイントについて：16:00～、17:00～（2度開催）

コーディネータ：NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 事務局長 保坂 幸司様

シャープ特選工業株式会社 管理部 総務課 課長 石垣 多佳子様

精神障がい者の職場定着については現状でとても課題になっているものの一つです。SPISというツールを使用し精神障がい者の定着支援を研究事業として行った結果判明した、職場定着におけるポイントを報告して頂きます。

障がい者雇用の環境対応について

分科会6：障害特性における職域について（アンケートによる）

報告、司会：全重協相談コーナー 時枝 民生様

アンケートの結果資料から、障がい特性の方のそれぞれの職域を明らかにして、障がい特性でどのような職域が実際にあり、どのように配慮し、工夫しているのか？それぞれの事例をもとにパネルディスカッションして頂きます。

分科会7：障害者雇用率アップに伴う対応について

4～6名のグループディスカッションとして、それぞれの会社の取り組み内容をグループでディスカッションして頂きます。その会社の障害者雇用率アップに伴う対応についての取組みをA4：1枚の用紙に記入して7部コピーしてお持ちください。その用紙を元に各グループでディスカッションして頂きます。

分科会8：障害者差別解消法による合理的配慮提供への対応について

4～6名のグループディスカッションとして、それぞれの会社の合理的配慮提供への対応についてグループでディスカッションして頂きます。その会社の合理的配慮提供への対応についての取組みをA4：1枚の用紙に記入して7部コピーしてお持ちください。その用紙を元に各グループでディスカッションして頂きます。

分科会9：精神・発達障がい者への対応について

現状、精神障がい者、発達障がい者の方をサポートする社員の方々が、対応に苦慮しメンタルダウンしたり、休職、退職されたりするケースが増えてきました。この問題を、4～6名のグループディスカッションとして、それぞれの会社の現状、悩みグループでディスカッションして頂きます。その会社での精神障がい者、発達障がい者をサポートする悩みや対応などをA4：1枚の用紙に記入して7部コピーしてお持ちください。その用紙を元に各グループでディスカッションして頂きます。